

## ALSO ジャパンプロバイダーコース@東北大学を終えて

宮城県立こども病院産科

佐藤聡二郎

ALSO とは Advanced Life Support in Obstetrics の略で、突然の周産期救急に対し効果的な対処が出来るようになるため産科医師・助産師・看護師だけでなく家庭医・救急救命医およびそのスタッフ・研修医・医学生をも対象とした教育プログラムです。現在、全米のほぼすべての分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーが ALSO 受講を義務付けられています。東北大学「周産期医療若手・女性医師支援プロジェクト」と NPO 法人周産期医療支援機構(OPPIC)により平成 23 年 8 月 20、21 日の 2 日間にわたって ALSO ジャパンプロバイダーコースが東北大学病院臨床講義棟にて行われました。

第 3 回目となる今回は、講師に新井隆成先生（金沢大学大学院周産期医療専門医養成講座）、安日一郎先生（国立病院機構長崎医療センター）らをお招きして、難産・産後大出血・妊婦心肺蘇生などの主要テーマのほか、早産治療・災害時産科医療などタイムリーな問題を多く盛り込まれた濃厚な 2 日間を過ごすことが出来ました。最終日の午後には筆記試験と教材モデルマネキンを用いた実技試験が行われ、受講者全員がめでたく合格されました。また、講義を分担した菅原準一先生（東北大学）、宮下進先生（宮城県立こども病院）、佐藤（同）もインストラクター試験に合格いたしました。

この教育プログラムを基礎にして、産科救急に迅速かつ的確な対応ができるプロバイダーが増え、安心安全な周産期環境を構築出来るかと思われれます。今後とも開催を予定しておりますので皆様のご参加をお待ちしております。

